

第14回  
2021/7/16

アイデアを考えていく人間

教育、教師...

↓  
哲学 (= 教育哲学 = 教育学) を  
持った教師に!

可能性

便説として出版する

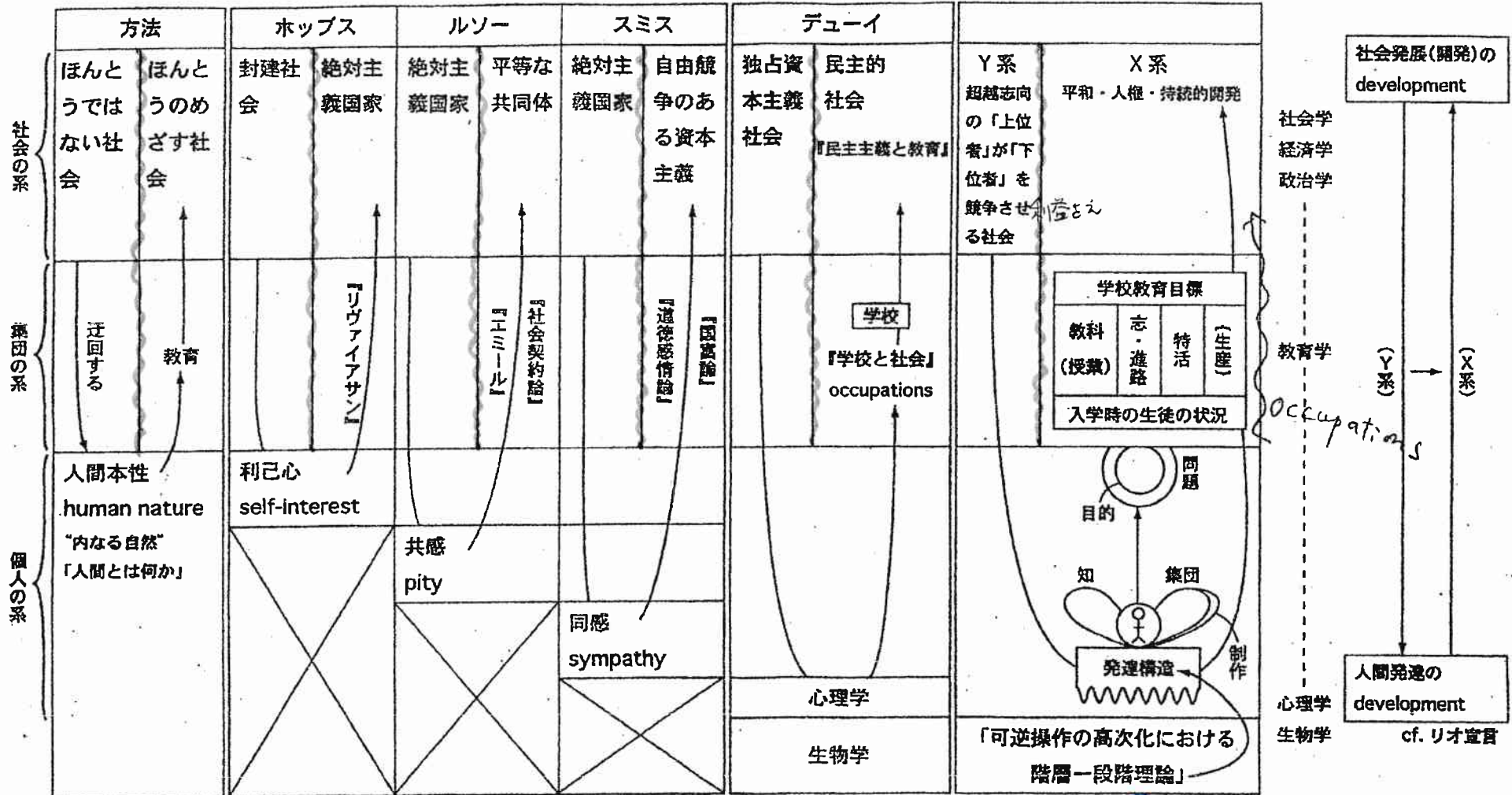
||  
レポート

人類

—3つの系—(社会の系・集団の系・個人の系)の発展

学説史  
↑↑  
現実の歴史

近代化 →



(参考出典: 内田義彦『作品としての社会科学』岩波書店、1992年など。)

仏教: 一切衆生悉有仏性 (涅槃經)

儒教: 大学之道、在明明徳、在親民、在止於至善。

格物致知 慮誠心正 修身 家齊 治國 平天下。



# デューイの民主主義と教育

## 目次

第一章	生命に必要なものとしての教育	一一
第二章	社会の機能としての教育	二五
第三章	指導としての教育	四六
第四章	成長としての教育	七四
第五章	準備、開発、形式陶冶	九三
第六章	保守および進歩としての教育	一一六
第七章	教育に関する民主的な考え	一三三
第八章	教育の諸目的	一六二
第九章	目的としての自然的発達と社会的に有為な能力	一八〇
第一〇章	興味と訓練	二〇〇
第十一章	経験と思考	二三三
第十二章	教育における思考	二四二
第十三章	教授法の本質	二六一
第十四章	教材の本質	二八五

7 目次

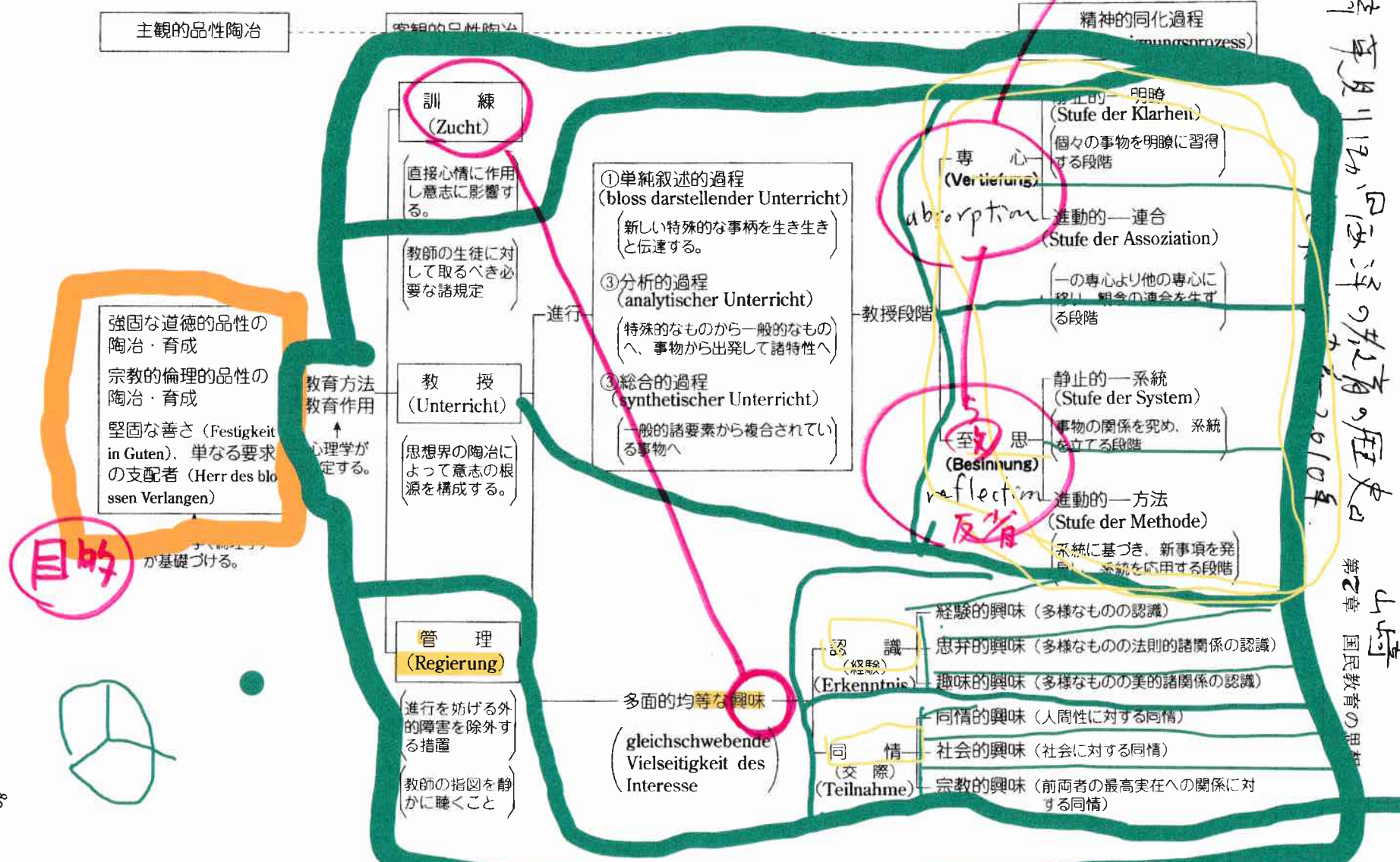
〔以下下巻〕

第一五章	教育課程における遊びと仕事	
第一六章	地理および歴史の意義	
第一七章	教育課程における科学	
第一八章	教育的価値	
第一九章	労働と閑暇	
第二〇章	知的学科と実際の学科	
第二一章	自然科と社会科…自然主義と人文主義	
第二二章	個人と世界	
第二三章	教育の職業的側面	
第二四章	教育の哲学	
第二五章	認識の理論	
第二六章	道德の理論	

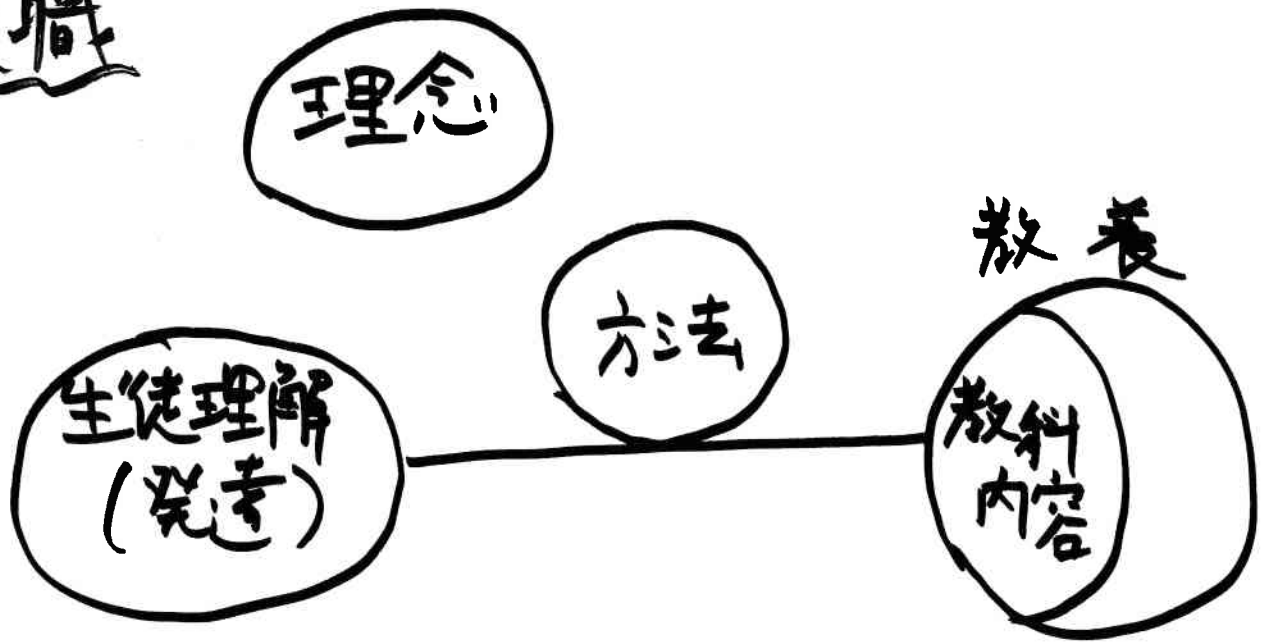
訳者解説

# ヘルバルト島

図7-1 ヘルバルトの教育的教授の体系



# 教職



△△△△  
回志 体育 外国語 情報

# 散養 Bildung 文化・教育内容

近現代  
中国革命  
教育



「ワタナベ」の「巴里」大表 137 億年の物語 文芸春秋、2013 年。

滝沢和彦 編著

# 『教育学原論』 注釈版

講義を意欲に自分で研究していく

## 目次

監修者のことば  
はじめに

### 第I部 教育基礎論

第1章 『教育学原論』の課題	3
1 教育学原論とは	3
2 本書の構成	7
第2章 教育の概念	13
1 「教育」の事実—多様な場での「教育」(家庭教育・学校教育・社会教育)	13
2 「教育」と関連概念	18
第3章 教育の理念	25
1 しつけと教育をめぐって	25
2 近代教育思想の理念—デュイ『学校と社会』を例に	26
3 戦後新教育の理念—1947年版学習指導要領の構成	31
4 教育の理念と現実	33
第4章 教育目的論	37
1 何のために教育するのか	37
2 教育目的としての普遍的価値—わが国の教育目的	39
3 近代教育学における教育目的論	40
4 価値多元的社会的教育目的論に向けて	43
5 民主主義への期待と教育目的論の現代的課題	45
第5章 教育的関係論	49
1 教育的関係論の変遷	49
2 大人と子どもの関係	53
3 教育関係の多様性	54
4 グローバル社会における教育的関係	56

### 第II部 教育思想論

第6章 教育思想の源流	61
1 教育思想の源流—古代ギリシアの教育思想を中心に	63
2 近代教育への助走	71
第7章 近代教育思想—ルソーからヘルバルト学派まで	75
1 ルソー—〈内なる自然〉	75
2 不屈の人 ベスタロッチ	77
3 フレーベルとヘルバルト	79
4 ヘルバルト学派	83
第8章 20世紀の教育思想(1)—アメリカを中心に	87
1 アメリカ教育思想の4類型	87
2 デューイ—進歩主義の理論的支柱	88
3 キルパトリック—進歩主義の方法論	90
4 バグリー—本質主義からの進歩主義批判	91
5 ハッチンズ—永遠主義からの進歩主義批判	94
6 フラメルド—改造主義からの進歩主義批判	94
7 ブルーナー—類型の意義と限界	97
第9章 20世紀の教育思想(2)—ドイツを中心に	99
1 ドイツの新教育運動	99
2 精神科学的教育学	103
3 精神科学的教育学の展開—シュプランガーを中心に	107
第10章 現代の教育思想	111
1 現代の教育課題と思想	111
2 価値多元的社會と教育の公共性	112
3 近代教育を問い直す視点—ポストモダン思想	114
4 熟識民主主義の思想と教育—理性への期待	116
5 ポストモダンの市民教育思想	119

### 第III部 現代の教育課題と教育研究入門

第11章 教育課程・方法研究の現在	125
1 学習指導要領の改訂と社会に開かれた教育課程	125
2 カリキュラム・マネジメント	127
3 教職課程コアカリキュラム	130
4 「主体的・対話的で深い学び」の推進	133
第12章 教育制度研究の現在	137
1 2000年前後の問題状況	137
2 教育制度改革の展開	143
3 教育制度を研究するということ	147
第13章 教育社会学研究の現在—「教育問題」についての捉え方を探る	149
1 教育社会学とはどのような学問か	149
2 「不登校」を教育社会学から捉える	151
3 「いじめ」「体罰」を教育社会学から捉える	153
4 「教育格差」を教育社会学から捉える	155
5 これからの教育社会学	157
第14章 教師教育研究の現在	161
1 教員の資質能力の向上を目的とした三法改正	161
2 教員養成カリキュラムの充実	164
3 教職課程コアカリキュラム	165
4 わが国における教員免許更新制度の意義と内容 運用の改善	166
第15章 特別支援教育研究の現在	173
1 わが国の特別支援教育	173
2 就学相談と学校教育の形態	175
3 通常の学級における特別支援教育	177
4 通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援	178
5 これからのインクルーシブ教育における支援の展望	181